

ゆかりの寺シリーズ その2 德川家康 ゆかりの寺 「光円山 久成寺」



光円山久成寺は、永正17年（1520）に日蓮宗の熱心な信者であったといわれる、後北条氏の家臣・梅田尾張守秀長が宅地を寄進して、日瞬を開山に迎えて建立したといわれる日蓮宗の寺院で山号は光円山。本尊は三宝祖師。もと身延山久遠寺の末寺。

小田原の陣に出陣中の徳川家康公が久成寺に立ち寄り、四代住職日顕上人の祈祷の恩賞として三石を与えたといわれている。

その後、鷹狩りの折立ち寄った際、日顕が柚子を献上し、家康公からは「葵の紋」入りの弁当箱を授けられたという。この弁当箱は行厨（こうちゅう）あるいは破子（わりご）と称し、久成寺の寺宝となっています。

天正19年（1591）には、家康公より寺領の寄進を受けている。



本寺内での換気を徹底し、参拝者はマスク着用及びアルコール消毒液の使用をお願い致します。

「元旦会」（善教寺本堂）
一月一日（土）午前七時～



「除夜会」（善教寺鐘楼堂）

十二月三十一日（金）午後十一時四十五分～
*鐘楼堂にて除夜の鐘を撞きます。

講師 朝枝 晓範師（北広島町中原本立寺）
*お接待当番 武士地区

〔昼席のみ法要開催決定〕
「報恩講」（善教寺本堂）
十二月二日（木）
午後一時半～ 読経（正信偈）
午後二時～ 法話
午後四時 法要終了

「宗祖聖人月忌・門信徒祥月命日法要」（善教寺本堂）
十一月十六日（火）午後一時半～
*毎月十六日に本堂において勤めております。

